



携帯電話の音声通話料金(特に従量制料金)について

令和 3 年 3 月 2 9 日
事 務 局

- 電気通信事業政策部会の一部答申(令和2年9月)を踏まえ、接続政策委員会において議論が行われ、携帯電話の音声通話料金(従量制料金)について、ネットワーク費用以外の要素が大きく占めており、固定電話と携帯電話の接続料が近い水準にある一方、両電話の従量制料金に大きな差が生じている点についての指摘があった。

情報通信審議会 電気通信事業政策部会

「IP網への移行の段階を踏まえた接続制度の在り方 ～IPによる相互接続開始に向けた方針整理～」一部答申(令和2年9月) (抜粋)

一部答申後は、着信接続料を設定する全ての事業者を対象に着信接続料の低廉化を図る仕組みとして、事業者間の接続料精算の動向等も踏まえつつ、着信接続料規制の制度設計に係る次の事項等について検討を進めることが適当である。また、加入電話と携帯電話で、音声接続料と比べてユーザ料金水準に大きな乖離が発生している等の相違が生じている状況について、接続政策の観点から分析を進め、必要な検討を行うことが適当である。

接続政策委員会における議論

(音声接続料とユーザ料金との関係性についての考え方)

(1) 事業者からの主な意見

- ・ 音声接続料がコストに占める割合は小さく、その水準の変動がユーザ料金に直結するものではない。
- ・ 市場の競争環境等も踏まえ、総合的な判断でユーザ料金を設定している。
- ・ 音声通話は、通話定額サービス等が競争の主軸となっており、ユーザの実質負担額は大きく低減している。
- ・ 接続料低廉化に資するような設備効率化等の取組を実施している。

(2) 委員からの主な意見

- ・ より安価に良質なサービスを提供するには、接続料を下げるだけではなく、市場競争の促進が重要。
- ・ 「ユーザ料金低廉化のために着信接続料低廉化を図る」ということのロジックが明確でないのではないか。
- ・ 因果関係について意見が分かれた状態でユーザ料金低廉化のために着信接続料を規制することは健全ではない。
- ・ 仮に通話料の定額制プランが競争の主軸であるとしても、従量料金を見直す必要がないという根拠にはならない。

(2)着信事業者が設定する接続料に関する課題

イ「ユーザ料金の低廉化」についての検討

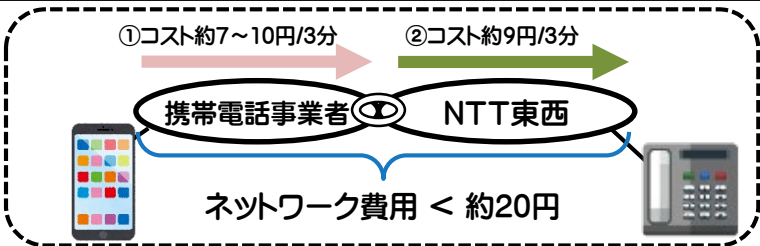
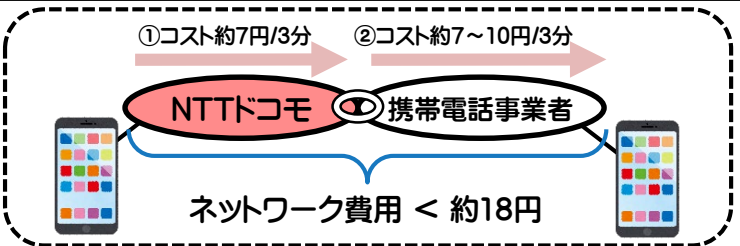
- 一部答申では、第一の課題として、特に、ユーザ料金水準の国際比較等から、日本の携帯電話のユーザ料金水準が高止まりしており、特に従量制の通話料金水準は3分120円のまま10年以上値下がりしていないという課題を提示した。
- この点について検証するため、一部答申のとりまとめ後、携帯電話の通話に係るユーザ料金の設定について携帯電話事業者各社から具体的なデータの提出を求めつつヒアリングを行ったところ、ユーザ料金全体に占める着信接続料支払額の割合は小さく、また、携帯電話事業者は、他事業者に支払う着信接続料のみではなく、市場の競争環境等も踏まえ、総合的な判断でユーザ料金を設定しているとの説明があった。また、このため、着信接続料の低廉化は必ずしも携帯電話の通話に係るユーザ料金の低廉化に直結しないとの主張がなされた。
- 携帯電話事業者がユーザ料金を設定する上で着信接続料が一つのコスト要因となっていることは間違いなく、その意味では、着信接続料が低廉化すれば、ユーザ料金の低廉化に影響を与える一つの要素とはなり得る。一方、上記の議論を踏まえれば、着信接続料がユーザ料金に与える影響は限定的であり、「着信接続料を低廉化すれば、携帯電話のユーザ料金の低廉化が確実に期待できる」と説明することは困難ではないか。
- むしろ、上記のヒアリングの結果、着信接続料支払額等のネットワーク費用以外の要素(営業費、管理費等や利益が含まれると考えられる)が大きな割合を占めており、固定電話と携帯電話の接続料が近い水準にある一方で、両電話の従量制ユーザ料金に大きな格差が生じていること(例えば、メタルIP電話は3分8.5円予定であるのに対して、携帯電話は現在概ね3分120円。) については指摘する必要がある。これは、携帯電話市場(特に音声通信分野)において競争が十分に機能していないことに原因がある可能性が高い。この点については、音声卸役務の適正化など、PSTNのIP網への移行を契機とした接続ルールの在り方としての議論とは別に、競争政策全体の議論の中で具体的に検討を進めていくことが適当ではないか。
- なお、ユーザ料金の低廉化については、携帯電話のユーザ料金ではないが視点2(1)の料金設定権に係る課題を解決することにより、加入電話発携帯電話着の通話料金は大きく低廉化を図ることができ、政策的効果はこちらの方が期待できるのではないか。

音声通話の従量制料金及びネットワーク費用

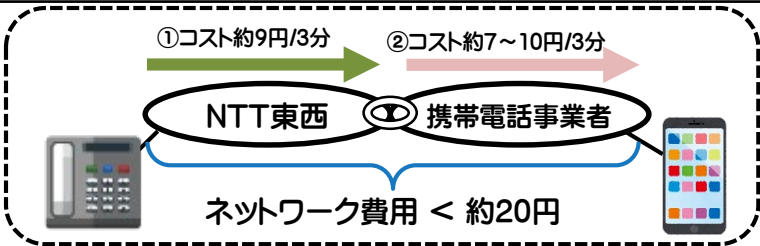
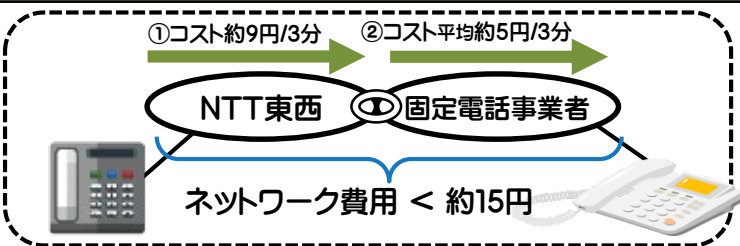
3

①携帯電話発信

赤枠は、全体の料金設定権をもつ事業者

携帯電話 発 NTT東西(加入電話) 着				携帯電話(例:NTTドコモ) 発 携帯電話 着			
							
料金設定事業者	利用者料金	ネットワーク費用(※1)		料金設定事業者	利用者料金	ネットワーク費用(※1)	
		網①	網②			網①	網②
NTTドコモ	120円/3分	約7円/3分	約9円/3分	NTTドコモ(例)	120円/3分	約7円/3分	NTTドコモ 約7円/3分
KDDI	120円/3分	約10円/3分					KDDI 約10円/3分
ソフトバンク	120円/3分	約10円/3分					ソフトバンク 約10円/3分

②固定電話発信

NTT東西(加入電話) 発 携帯電話 着(※2)				NTT東西(加入電話) 発 固定電話 着			
							
料金設定事業者	利用者料金	ネットワーク費用(※1)		料金設定事業者	利用者料金(昼間)		ネットワーク費用(※1)
		網①	網②		網①	網②	
NTTドコモ(着)	60円/3分	約9円/3分	約7円/3分	NTT東西	市内通話	8.5円/3分	約9円/3分
KDDI(着)(※3)	90円→60円/3分		約10円/3分		市外-20km	20円/3分	
ソフトバンク(着)(※3)	120円→60円/3分		約10円/3分		20-60km	30円/3分	
					60km以上	40円/3分	
							平均 約5円/3分

※1 ネットワーク費用は接続料水準を参考とした推定値を記載。※2 2021年10月より、料金設定権が携帯電話3社からNTT東西に移行される予定。 ※3 2021年5月1日から値下げ。

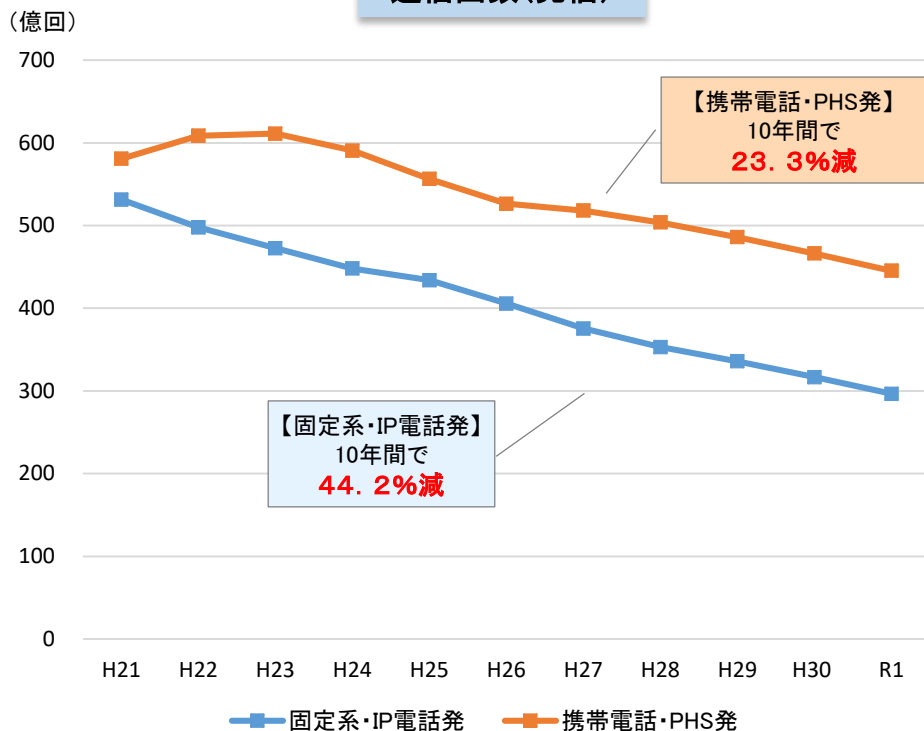
音声トラヒックの推移

- 音声通信量(通信回数及び通信時間)は、「固定系(加入電話、ISDN(音声)、公衆電話)・IP電話発」、「携帯電話・PHS発」とともに減少傾向にあるが、携帯電話・PHS発の減少率(特に通話時間に係るもの)は低い。

※通信回数では、固定系・IP電話発で44.2%減に対して、携帯電話・PHS発は23.3%減。

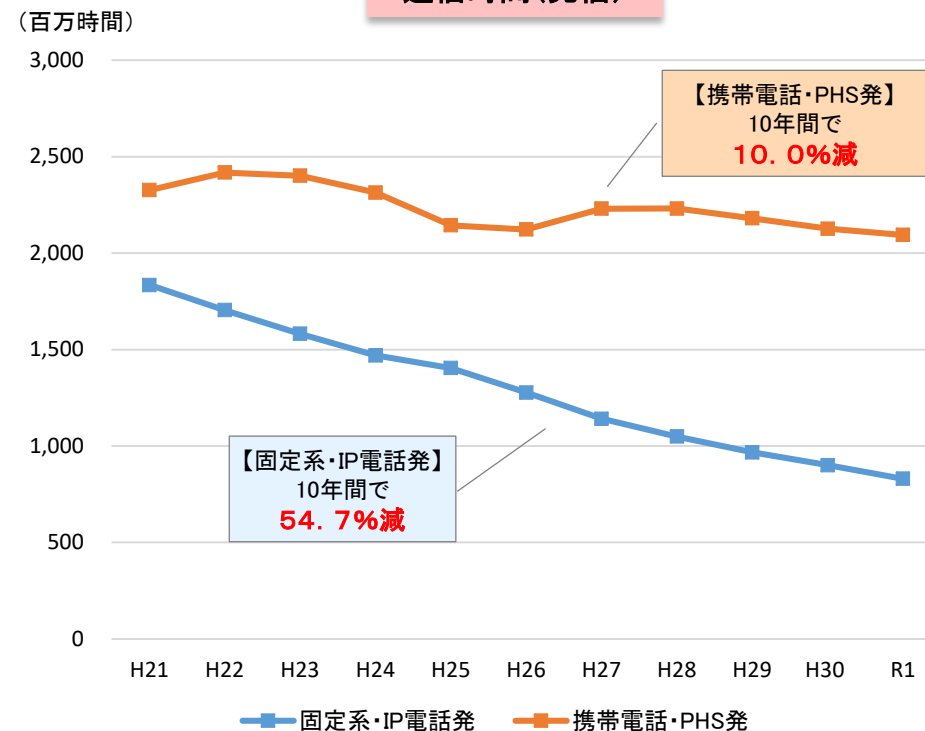
※通信時間では、固定系・IP電話発で54.7%減に対して、携帯電話・PHS発は10.0%減。

通信回数(発信)



(億回)

通信時間(発信)



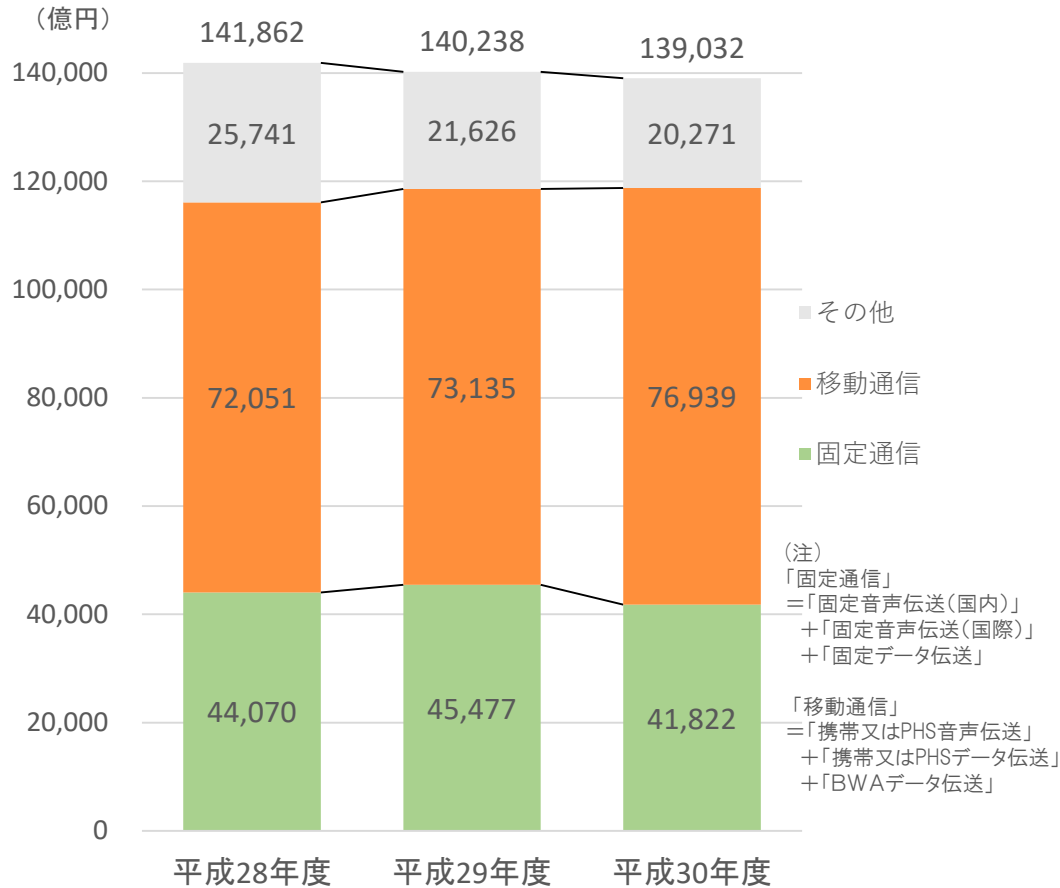
(百万時間)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H29	H28	H30	R1
固定系・IP電話発	531.5	497.8	472.7	448.1	434.0	405.7	375.5	353.0	335.8	316.7	296.5
携帯電話・PHS発	580.9	608.7	611.2	590.8	556.4	526.5	518.1	503.9	486.1	466.3	445.3

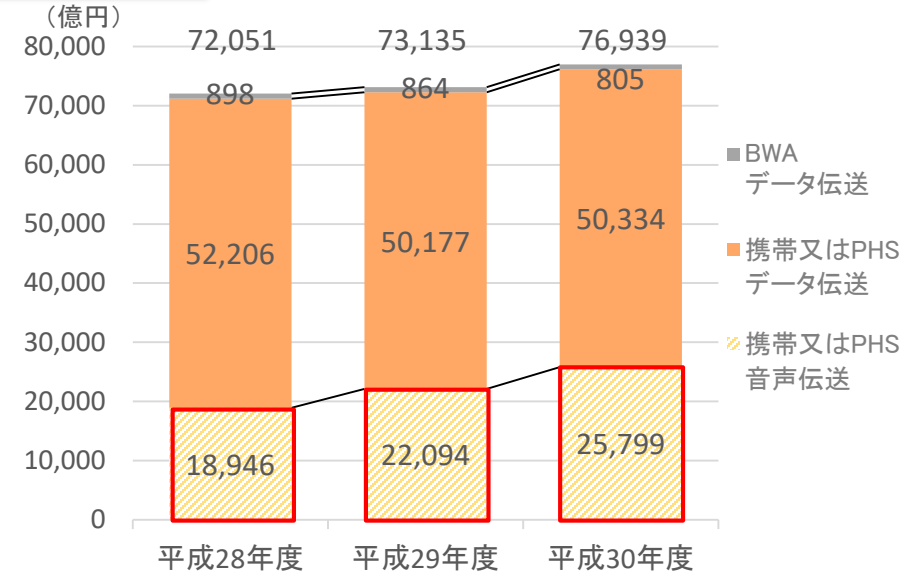
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H29	H28	H30	R1
固定系・IP電話発	1,835.0	1,704.9	1,582.3	1,470.1	1,404.4	1,277.9	1,141.7	1,049.3	967.6	901.0	830.8
携帯電話・PHS発	2,327.0	2,418.0	2,401.5	2,314.5	2,144.4	2,122.4	2,230.6	2,231.5	2,180.5	2,127.2	2,094.2

- 電気通信事業の売上高は、13兆9,032億円であり、移动通信は固定通信に対して割合が大きく、増加傾向にある。
- 移动通信の売上高は、音声伝送・データ伝送ともに増加しており、音声伝送の割合が増加している。

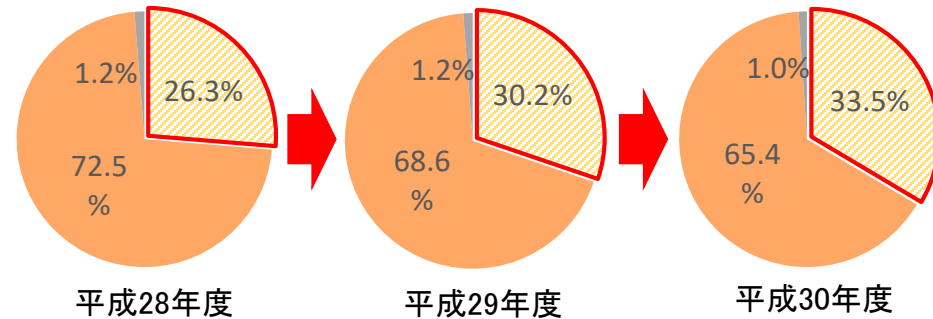
電気通信市場
全体の売上高



移动通信の
売上高の内訳



(移动通信の売上高の割合)



■ 携帯又はPHS音声伝送 ■ 携帯又はPHSデータ伝送 ■ BWAデータ伝送

出典：2019年情報通信業基本調査結果(2018年度実績)(2020年3月総務省・経済産業省発表)

移動電気通信役務収支の推移(MN03社)

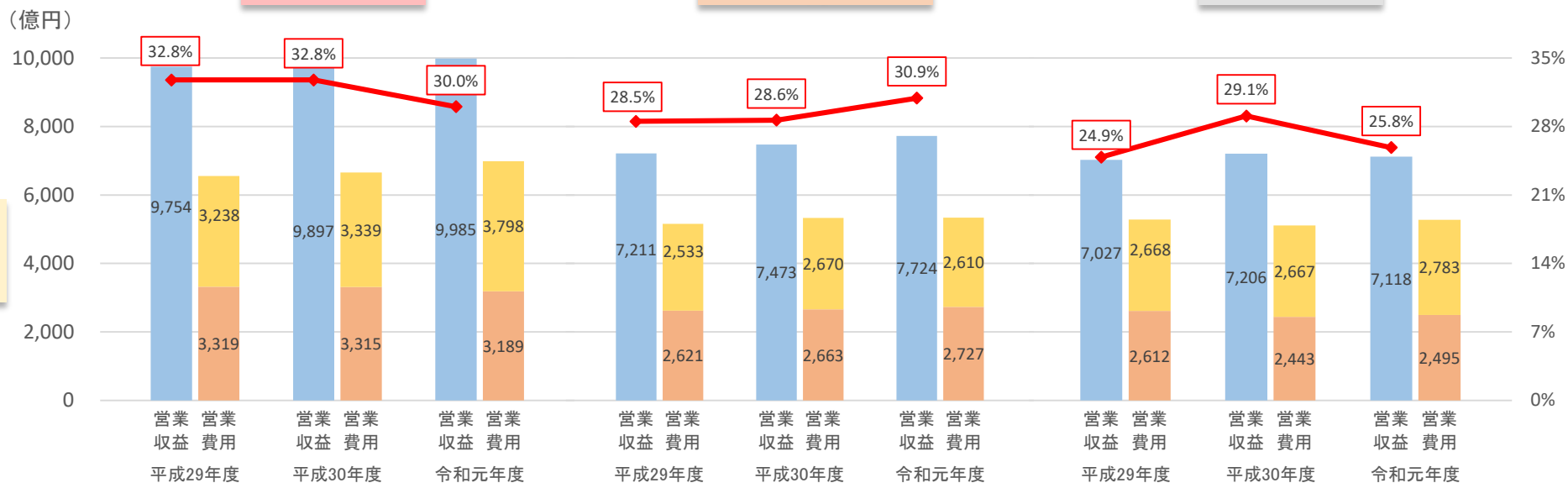
6

NTTドコモ

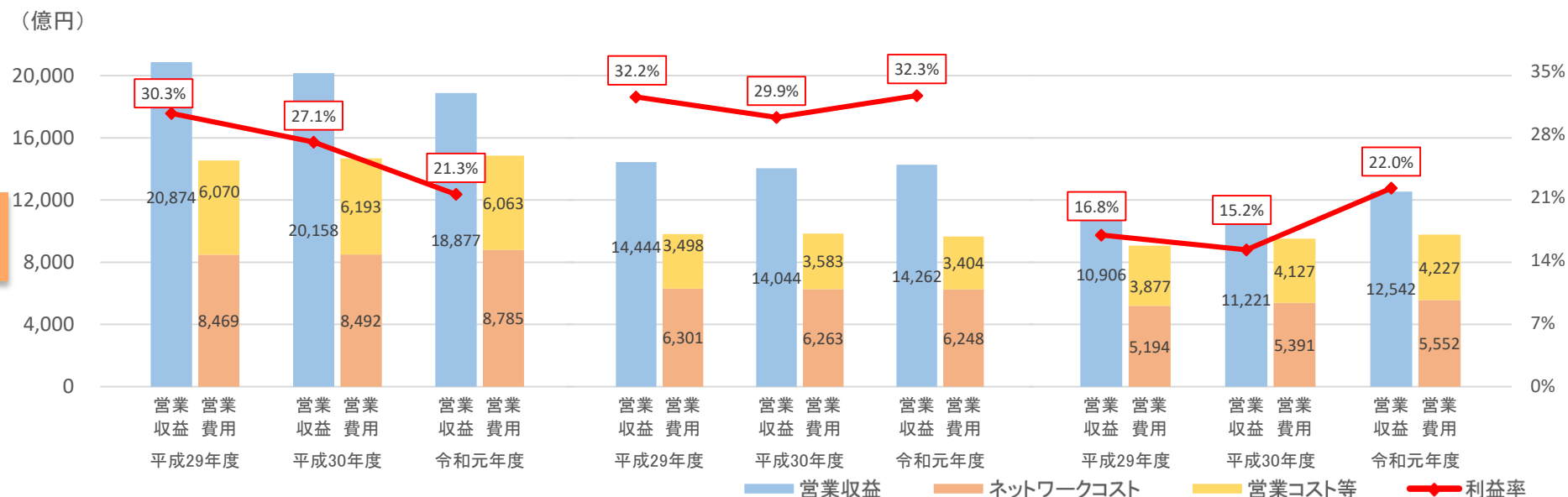
KDDI・沖縄セルラー

ソフトバンク

音声
伝送役務
(携帯電話)



データ
伝送役務



ネットワークコスト：施設保全費、試験研究費、減価償却費、固定資産除却費、通信設備使用料、租税公課
 営業コスト等：営業費、共通費、管理費

出典：各社接続会計

各社の音声通話料金①(MNO)

(税抜。2021年3月26日現在)

7

		NTTドコモ		KDDI			ソフトバンク			楽天モバイル
		NTTドコモ	ahamo	au	povo	UQ mobile	ソフトバンク	LINEMO	Y!mobile	
プラン名	4G	ギガライト ギガホ※1 ギガホ プレミア※2	ahamo※3	ピタットプラン 4G LTE 使い放題MAX 4G※4	povo※5,6	くりこしプラン S・M・L※7	ミニフィットプラン+ ※9 メリハリ無制限※9	LINEMO※10	シンプルプラン S・M・L※11	Rakuten UN-LIMIT V※12 / VI※13
	5G	5G ギガライト 5G ギガホ※1 5G ギガホ プレミア※2		ピタットプラン 5G 使い放題MAX 5G※4		—※8				
24時間 かけ放題		かけ放題オプション	かけ放題オプション	通話定額2	通話かけ放題	かけ放題（24時間いつでも）	定額オプション+	通話定額	スーパーだれとでも定額(S)	+ 0 円 (Rakuten Link利用時)
		+ 1,700円	+ 1,000円	+ 1,800円	+ 1,500円	+ 1,700円	+ 1,800円	+ 1,500円	+ 1,700円	
一部 かけ 放題 ※14	5分間	5分通話無料オプション	+ 0 円	通話定額ライト2	5分以内通話かけ放題	—	準定額オプション+	通話準定額	—	—
		+ 700円		+ 800円	+ 500円	+ 800円	+ 500円			
	10分間	—	—	—	—	かけ放題（10分/回）	—	—	だれとでも定額	—
						+ 700円			+ 700円	
その他		—	—	—	—	通話パック（60分/月）	—	—	—	—
						+ 500円				
従量制		20円/30秒		20円/30秒			20円/30秒			20円/30秒 (Rakuten Link非利用時)

※1 2021年3月31日をもって新規受付を終了予定。 ※2 2021年4月1日に提供開始。 ※3 2021年3月26日に提供開始。 ※4 2021年3月1日に提供開始。大量のデータ通信又は長時間接続を伴うサービスを利用した場合、速度制限を行う可能性あり。 ※5 2021年3月23日に提供開始。 ※6 5Gは2021年夏に対応予定。 ※7 2021年2月1日に提供開始。 ※8 5Gは2021年夏に提供予定。料金プランは未定。 ※9 2021年3月17日に提供開始。 ※10 2021年3月17日に提供開始。LINEはデータ容量の消費なく利用可能。 ※11 2021年2月18日に提供開始。 ※12 2021年3月31日をもって提供終了予定。 ※13 2021年4月1日に提供開始予定 (Rakuten UN-LIMIT V加入者は自動移行。)。 ※14 NTTドコモ及びKDDI、ソフトバンクは、規定の時間を超えた場合、通話従量制料金(20円/30秒)が発生。

注 記載の金額は各種割引を考慮していない。各社とも家族制(家族で加入した場合に家族内通話に係る通話料を割引(一部事業者では月額料金から一定額を割引))、そのほか期間限定キャンペーンなどの割引あり。

各社の音声通話料金②(主なMVNO)

専用通話アプリを使用するもの

8

(一部を除き税抜。2021年3月26日現在)

		IIJ		オプテージ	日本通信		NTTコミュニケーションズ	ビックロブ	J:COM MOBILE	LINEモバイル
プラン名	4G	従量制プラン (タイプAのみ) タイプD、 タイプA	ギガプラン※1	A、D、Sプラン (デュアルタイプ) ※2	合理的 かけほプラン	合理的 20GBプラン	音声対応 SIMカード※3	タイプD、タイプA※4	タイプA ST※5	ベーシックプラン※6
	5G	—			一部専用通話アプリ不要					
24時間 かけ放題		—		—	+ 0 円	—	完全かけ放題※3,7 + 1,300 円	—	—	—
一部 かけ 放題	3分間 ／ 5分間	通話定額オプション※8,9 (誰とでも 3分、家族と10分)	—	—	—	—	—	3 分かけ放題※11	かけ放題 (5 分/回) ※12	—
		+ 600 円						+ 600 円	+ 850 円	
	10分間	通話定額オプション※8,9 (誰とでも10分、 家族と30分)	mineoでんわ10分かけ放 題※10	—	10分かけ放題※3,8	10分かけ放題※11	—	10分電話かけ放題オ プション※8		
		+ 830 円	+ 850 円	+ 850 円	+ 830 円	+ 880 円				
60分間	—	—	—	—	—	—	かけ放題 (60分/回) ※12	—		
	+ 1,500 円									
その他		—	通話定額30※13 + 840 円 通話定額60※13 + 1,680 円	—	70分無料通話 ※14 + 0 円	トップ 3 かけ放題※3,15 + 850 円	通話バック60※11 + 600 円 通話バック90※11 + 830 円	—	—	
従 量 料 金	専用通話 アプリ 使用時	みおふぉんダイヤル アプリ	mineoでんわ アプリ※16	—		OCNでんわ アプリ※3	BIGLOBEでんわ アプリ	—	いつでもでんわ アプリ	
		10 円/30 秒	10 円/30 秒			10 円/30 秒	9 円/30 秒		10 円/30 秒	
	専用通話 アプリ 不使用時	20 円/30 秒			—	10 円 /30 秒	※2021年4月7日～ 10 円/30 秒	20 円/30 秒		

※1 2021年4月1日に提供開始予定。5Gサービスは2021年6月以降に対応予定(一部利用不可)。※2 2021年2月1日から提供開始。+200円/月で、5G利用可(一部利用不可)。※3 2021年4月7日より専用通話アプリ不要に変更予定。※4 2021年2月19日に提供開始。※5 2021年2月18日に提供開始。5Gサービスは2021年夏以降に対応予定。※6 2021年3月31日をもって新規受付を終了予定。※7 専用通話アプリ使用時。専用通話アプリ不使用時は、従量料金(20円/30秒)。※8 専用通話アプリ使用時。規定の時間を超えた場合、従量料金(10円/30秒)が発生。専用通話アプリ不使用時は従量料金(20円/30秒)。※9 同一顧客ID内の契約電話番号を「家族」と表記。※10 専用通話アプリ使用時。規定の時間を超えた場合、従量料金(10円/30秒(税込又は免税))が発生。専用通話アプリ不使用時は従量料金(20円/30秒)。※11 専用通話アプリ使用時。規定の時間を超えた場合、従量料金(9円/30秒)が発生。専用通話アプリ不使用時は従量料金(20円/30秒)。※12 専用通話アプリ不要。規定の時間を超えた場合、従量料金(20円/30秒)が発生。※13 専用通話アプリ不要。規定の時間を超えた場合、従量料金(20円/30秒)が発生。専用アプリ使用時は従量料金(10円/30秒(税込又は免税))。※14 専用通話アプリ不要。規定の時間を超えた場合、従量料金(10円/30秒)が発生。※15 「OCNでんわアプリ」からの通話料上位3番号への通話無料。上位3番号以外への通話は従量料金(10円/30秒)が発生。※16 税込又は免税。注 記載の金額は各種割引を考慮していない。各社とも家族割(家族で加入した場合に家族内通話に係る通話料を割引(一部事業者では月額料金から一定額を割引))、そのほか期間限定キャンペーンなどの割引あり。

- 専用通話アプリとは、MVNOが提供する自動的にプレフィックス番号をつけて発信できるアプリであり、各社ごとに決まっているプレフィックス番号を発信番号の先頭につけて発信することにより、中継電話事業者の低廉なネットワークを経由した通話となり、通話料(20円/30秒)が半額以下になる。
- 主要なMVNOは、事業者ごとに独自の通話アプリを提供しており、各種割引通話やかけ放題サービス等については、専用通話アプリを使用することが利用条件になっている場合が多い。

標準通話アプリの使い方



専用通話アプリ使用上の主な注意点

- 一般的に、標準通話アプリに比べて利用に手間がかかるため、正しく使用しないことで割引額が適用されず、高額請求につながる可能性。
- 一部発信できない(又は割引が適用されない)番号が存在。
(例: 緊急通報、フリーダイヤル等)
- 通話の相手方の電話機に電話番号が通知されないサービスが存在。

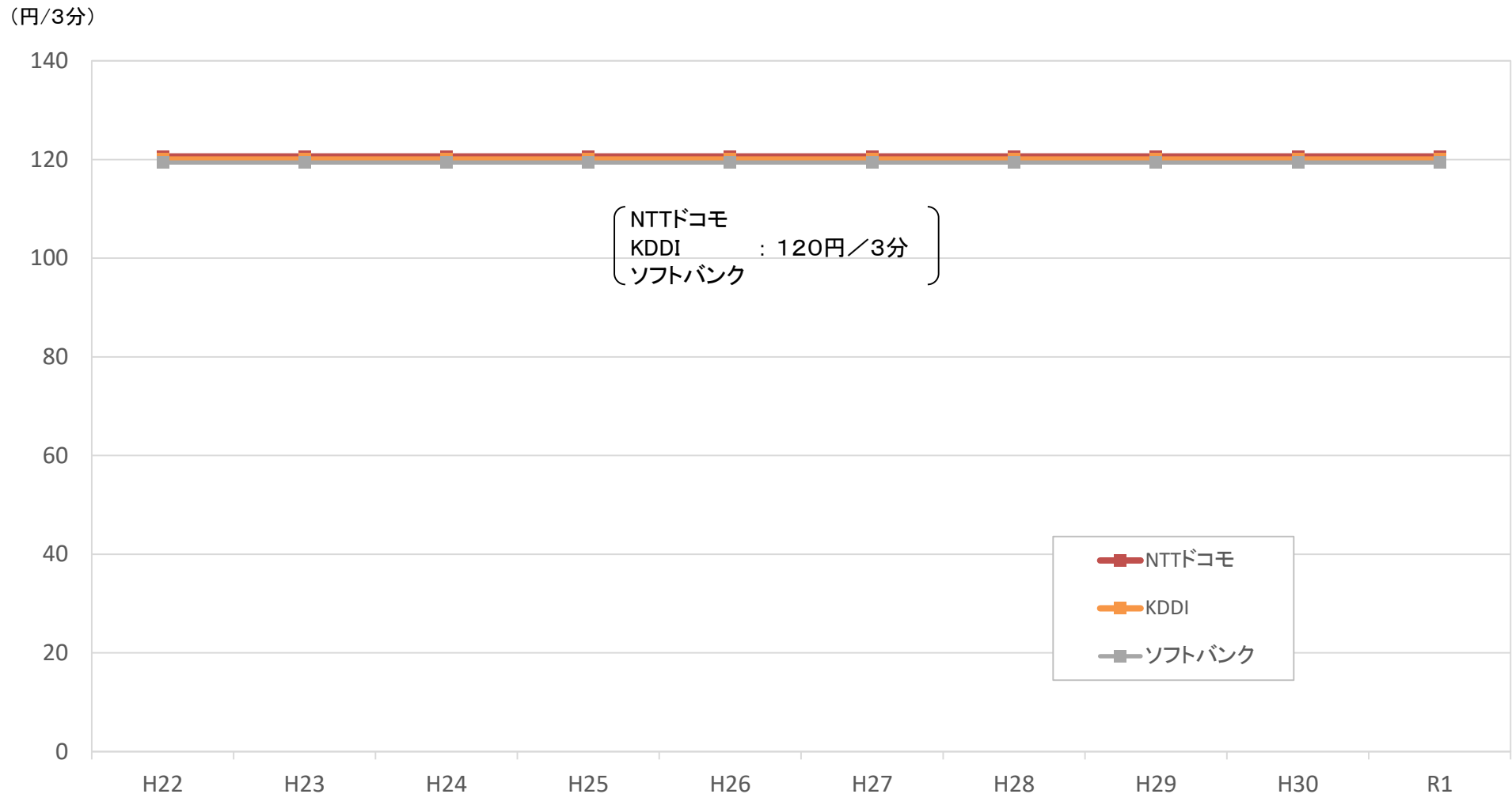
専用通話アプリの使い方(着信履歴が表示されない場合(例: BIGLOBEでんわ))

※スマートフォンOSの制約で専用通話アプリでは着信履歴が取得できず、利用者自身が、標準通話アプリで電話番号をコピーして専用通話アプリに貼り付けする操作が必要な場合。



○ 携帯電話の音声通話料(従量制)は、10年以上前から変わっていない(120円/3分)。

■ 携帯電話各社の音声通話料(従量制)の推移



音声通話の利用者料金について①(MN03社)

(税抜。2021年3月26日現在)

11

	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク
平成22年 以前	平成20年4月「家族間通話無料」 「ファミ割MAX50」(基本料は加入プランによる) ^{※1} ・追加料金なしで家族間の通話無料	平成20年3月「家族間通話無料」 「家族割+誰でも割」(基本料は加入プランによる) ^{※2} ・追加料金なしで家族間の通話無料 平成21年8月「指定ユーザーへの通話無料」 「指定通話定額」(基本料は加入プランによる) ^{※3} ・+372円/月で指定したauユーザーへの通話無料	平成19年1月「同一キャリア宛て一部通話無料」等 「ホワイトプラン」(基本料934円/月) ^{※4} ・追加料金なしで同一キャリア宛ての通話無料(1～21時に限る) ^{※5} 「Wホワイト」(基本料934円/月) ^{※4} ・+934円/月で他キャリア等への通話半額(10円/30秒) 平成19年6月「家族間通話無料」 「ホワイト家族24」(基本料934円/月) ^{※4} ・追加料金なしで家族間の通話無料
平成23年 ～ 平成25年	平成23年11月「同一キャリア宛て通話無料」 「タイプXiにねん」(基本料743円/月) ^{※6} ・+667円/月で同一キャリア宛ての通話無料 平成23年12月 音声卸料金設定	平成23年9月「同一キャリア宛て一部通話無料」 「プランZシンプル」(基本料934円/月) ^{※7} ・追加料金なしで同一キャリア宛ての通話無料(1～21時に限る) ^{※5} 平成24年9月「同一キャリア宛て通話無料」等 「LTEプラン」(基本料934円/月) ^{※8} ・追加料金なしで同一キャリア宛ての通話無料(1～21時に限る) ^{※5} 「au通話定額24」(基本料934円/月) ^{※8} ・+477円/月で同一キャリア宛ての通話無料 「通話ワイド24」(基本料934円/月) ^{※8} ・+934円/月で他キャリア等への通話半額(10円/30秒)	平成23年11月「同一キャリア宛て通話無料」 「24時間通話定額オプション」(基本料934円/月) ^{※4} ・+477円/月で同一キャリア宛ての通話無料
平成26年	6月「定額制」 「カケホーダイ」(基本料2,700円) ^{※9} ・追加料金なしで通話無料	4月 音声卸料金設定 8月「定額制」 「カケホ」(基本料2,700円/月) ^{※8} ・追加料金なしで通話無料	7月「定額制」 「スマ放題」(基本料2,700円/月) ^{※10} ・追加料金なしで通話無料(24時間)
平成27年	9月「準定額制」 「カケホーダイライト」(基本料1,700円) ^{※9,10} ・追加料金なしで1回5分以内通話無料	9月「準定額制」 「スーパーカケホ」(基本料1,700円/月) ^{※8,10} ・追加料金なしで1回5分以内通話無料	9月「準定額制」 「スマ放題ライト」(基本料1,700円/月) ^{※10,11} ・追加料金なしで1回5分以内通話無料 10月 音声卸料金設定
平成30年			9月「定額制・準定額制」オプション化 「定額オプション」(基本料1,200円/月) ^{※12} ・+1,500円/月でかけ放題 「準定額オプション」(基本料1,200円/月) ^{※10,12} ・+500円/月で1回5分以内通話無料
平成31年・ 令和元年	6月「定額制・準定額制」オプション化 「かけ放題オプション」(基本料は加入プランによる) ・+1,700円/月でかけ放題 「5分通話無料オプション」(基本料は加入プランによる) ^{※10} ・+700円/月で1回5分以内通話無料	6月「定額制・準定額制」オプション化 「通話定額」(基本料は加入プランによる) ^{※13} ・+1,700円/月でかけ放題 「通話定額ライト」(基本料は加入プランによる) ^{※10,13} ・+700円/月で1回5分以内通話無料	9月 基本料の変更 「定額オプション」(基本料980円/月) ^{※12} ・+1,500円/月でかけ放題 「準定額オプション」(基本料980円/月) ^{※10,12} ・+500円/月で1回5分以内通話無料
令和2年		6月「定額制・準定額制」料金の変更 「通話定額2」(基本料は加入プランによる) ・+1,800円/月でかけ放題 「通話定額ライト2」(基本料は加入プランによる) ^{※10} ・+800円/月で1回5分以内通話無料	3月「定額制・準定額制料金」の変更 「定額オプション+」(基本料980円/月) ・+1,800円/月でかけ放題 「準定額オプション+」(基本料980円/月) ^{※10} ・+800円/月で1回5分以内通話無料

※1 FOMAプラン限定。2019年9月30日をもって新規受付終了。現在はファミリー割引適用で家族間の通話無料。※2 現在は一部を除き家族割のみ適用でも家族間の通話無料。※3 2015年8月24日をもって新規受付終了。※4 2018年6月27日をもって新規受付終了。現在は家族割引適用で家族間の通話無料。※5 21時から1時までは20円/30秒。※6 2014年8月31日をもって新規受付終了。※7 2018年11月7日をもって新規受付終了。※8 2019年8月31日をもって新規受付終了。※9 2019年5月31日をもって新規受付終了。※10 準定額制オプションについて、1回の通話が5分を超過した場合は20円/30秒。※11 2018年9月5日をもって新規受付終了。※12 2019年9月12日をもって新規受付終了。※13 2020年6月1日をもって新規受付終了。※14 各社の利用者料金は、2年契約適用に係る金額(税抜)を記載。出典:接続料の算定等に関する研究会 第四次報告書(2020年9月)及び各社HPを参考に作成

音声通話の利用者料金について②(主なMVNO)

(一部を除き税抜。
2021年3月26日現在)

12

	IIJ	オプテージ	日本通信	NTT コミュニケーションズ	ビッグロブ	J:COM MOBILE	LINEモバイル
音声通話サービス 開始時期	平成26年3月 音声通話付SIM提供開始 ・ +1,000円/月 (平成26年10月より+700円/月へ改定) ・ 従量料金(20円/30秒)	平成26年6月 音声通話付SIM提供開始 ・ +610円/月 ・ 従量料金(20円/30秒)	平成22年7月 音声通話付SIM提供開始 ・ 基本料 3,772円/月 ・ 無料通話1,000円分含む ・ 無料通話超過後、20円/30秒 ※データ使い放題。	平成26年12月 音声通話付SIM提供開始 ・ +700円/月 ・ 従量料金(20円/30秒)	平成26年7月 音声通話付SIM提供開始 ・ 基本料 1,600円/月 ・ 従量料金(20円/30秒) ※データ1GB込み。	平成27年10月 音声通話付SIM提供開始 ・ 基本料 2,980円/月 ・ 従量料金(20円/30秒) ※Aプラン、データ3GB込み。	平成28年9月 音声通話付SIM提供開始 ・ 基本料 1,200円/月 ・ 従量料金(20円/30秒) ※データ1GB込み。
主な通話割引サービス	平成27年4月 専用通話アプリ提供開始 「みおふぉんダイヤル」 ・ 従量料金(10円/30秒)	平成28年6月 通話バック提供開始 「通話定額30」 ・ +840円/月 ・ 月30分超過時、20円/30秒	平成28年10月 専用通話アプリ提供開始 ／準定額オプション提供開始 「b-mobile電話」 ・ 従量料金(10円/30秒)	平成28年8月 準定額オプション提供開始 「5分かけ放題オプション」 ・ +850円/月 ・ 1回5分超過時、10円/30秒	平成26年9月 専用通話アプリ提供開始 「BIGLOBEでんわ」 ・ 従量料金(10円/30秒)	平成29年2月 準定額オプション提供開始 「かけ放題(5分/回)」 ・ +850円/月 ・ 1回5分超過時、20円/30秒	平成29年6月 専用通話アプリ提供開始 ／準定額オプション提供開始 「いつでもでんわ」 ・ 従量料金(10円/30秒)
	平成27年4月 通話割引提供開始 「ファミリー通話割引」 ・ 同一名義(家族)内の通話2割引 (アプリ使用時:8円/30秒、アプリ不使用時:16円/30秒)	「通話定額60」 ・ +1,680円/月 ・ 月60分超過時、20円/30秒	「通話3分定額」 ・ +500円/月 ・ 1回3分または1日50回超過時、10円/30秒	平成28年10月 専用通話アプリ提供開始 「OCNでんわ」 ・ 従量料金(10円/30秒)	平成27年10月 通話バック提供開始 「通話バック60」 ・ +650円/月 ・ 月60分超過時、10円/30秒	令和2年12月 準定額オプション追加 「かけ放題(60分/回)」 ・ +1,500円/月 ・ 1回60分超過時、20円/30秒	「10分電話かけ放題」 ・ +880円/月 ・ 1回10分超過時、10円/30秒
	平成28年9月 準定額オプション提供開始 「誰とでも3分 家族と10分」 ・ +600円/月 ・ 1回3分超過時、10円/30秒(家族は10分超過時、8円/30秒) 「誰とでも5分 家族と30分」 ・ +830円/月 ・ 1回5分超過時、10円/30秒(家族は30分超過時、8円/30秒)	平成29年3月 準定額オプション提供開始 「5分かけ放題サービス」 ・ +850円/月 ・ 1回5分超過時、10円/30秒	平成29年8月 準定額オプション追加 「通話5分かけ放題」 ・ +500円/月 ・ 1回5分超過時、10円/30秒	平成29年2月 準定額オプション一部改定(5分→10分) 「10分かけ放題オプション」 ・ +850円/月 ・ 1回10分超過時、10円/30秒	平成28年10月 準定額オプション提供開始 「3分かけ放題」 ・ +650円/月 ・ 1回3分超過時、10円/30秒		
	平成29年5月 準定額オプション一部改定(誰とでも5分 家族と30分→誰とでも10分 家族30分) 「誰とでも10分 家族と30分」 ・ +830円/月 ・ 1回10分超過時、10円/30秒(家族は30分超過時、8円/30秒)	平成29年10月 専用通話アプリ提供開始 ／準定額オプション一部改定(5分→10分) 「mineoでんわ」※1 ・ 従量料金(10円/30秒) 「mineoでんわ10分かけ放題」 ・ +850円/月 ・ 1回10分超過時、10円/30秒※1	令和2年7月 定額サービス提供開始 「合理的かけほプラン」 ・ 基本料 2,480円/月 ※データ3GB込み。	平成29年9月 準定額オプション追加 「トップ3かけ放題」 ・ +850円/月 ・ 上位3番号への通話無料 ・ その他通話は、10円/30秒 「かけ放題ダブル」 ・ +1,300円/月 ・ 上位3番号への通話無料 ・ それ以外は、10分以内無料 ・ 1回10分超過時、10円/30秒	平成30年4月 専用通話アプリの従量料金の値下げ(10円→9円)等 「BIGLOBEでんわ」 ・ 従量料金(9円/30秒) 「3分かけ放題」 ・ +600円/月(料金改定) ・ 1回3分超過時、9円/30秒 「通話バック60」 ・ +600円/月(料金改定) ・ 月60分超過時、9円/30秒 「10分かけ放題」 ・ +830円/月(新規追加) ・ 1回10分超過時、9円/30秒 「通話バック90」 ・ +830円/月(新規追加) ・ 月90分超過時、9円/30秒	専用通話アプリを使用するもの 現在提供しているサービス	
			令和2年12月 無料通話分込プラン提供開始 「合理的20GBプラン」(月70分無料通話分含む) ・ 基本料 1,980円/月 ・ 月70分超過時、10円/30秒 ※データは、令和3年2月17日までは16GB、18日以降20GB。	令和3年2月 定額オプション提供開始(上位3番号+10分かけ放題→24時間かけ放題) 「完全かけ放題」 ・ +1,300円/月			

※1 平成30年3月より、10円/30秒(税込又は免税)。 ※2 050などのIP電話による通話サービスは記載していない。

出典：各社HP

○ 欧米諸国では、音声通信サービスが料金プランに組み込み、あるいは定額制プランが一般的となっている。

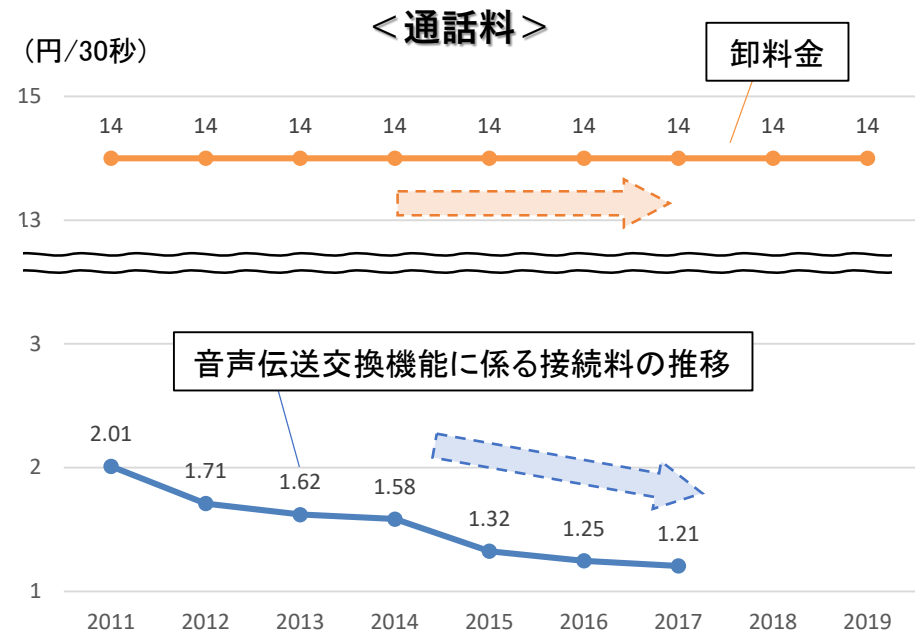
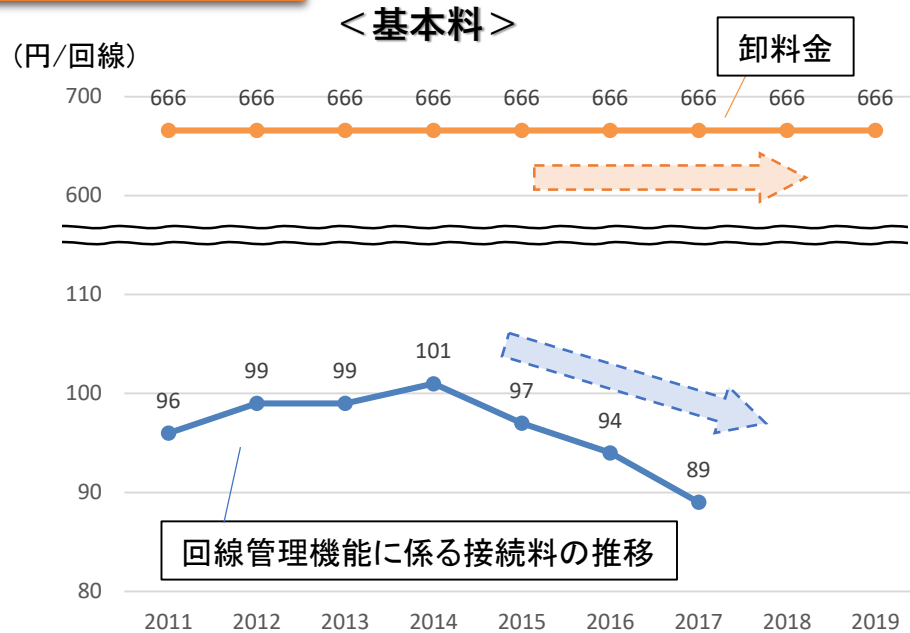
国		米国	英国	フランス	ドイツ	韓国	日本
モバイル	事業者 (※1)	Verizon	Telefonica UK	Orange	Telefonica Deutschland Holding	SK Telecom	NTTドコモ
	提供 状況 (※2)	通信料金プランに 組み込み (通話無制限)	ほとんどの通信料 金プランに組み込 み(通話無制限) ※一部の低容量プランは 月500～1000分無料。 超過後、約249円/3分。	ほとんどの通信料 金プランに組み込 み(通話無制限) ※一部の低容量プラン は月120分無料。 超過後、約147円/3分。	通信料金プランに 組み込み (通話無制限)	ほとんどの通信料 金プランに組み込 み(通話無制限) ※一部の低容量プランは 月75～1000分無料。 超過後、約34円/3分。	基本料金＋通話料 (定額制等) ※完全無制限(1870円)、 5分無料(770円)等。 超過後、132円/3分。
固定	事業者 (※1)	Verizon Communications	BT Group	Orange France	Telekom Deutschland	KT Corp	NTT東日本・西日本
	提供 状況	通信料金プランに 組み込み ※住宅用はIP電話のみ、 事務用は米国内無制 限。	基本料金＋通話料 (定額制等) ※完全無制限、月700分無 料、従量制。	基本料金＋通話料 (定額制等) ※完全無制限、月120～ 240分無料、従量制等。	基本料金＋通話料 (定額制等) ※住宅用は固定電話へ 完全無制限。	基本料金＋通話料 (定額制等) ※月3,000分無料等。	基本料金＋通話料 (従量制)

※1 事業者はモバイル、固定ともに各国のシェア1位の事業者。

※2 料金は税込。

- 音声卸料金(基本料・通話料)について、約10年間、見直しは行われていなかった。
- 2020年6月の総務大臣裁定による音声卸料金の低廉化を受けて、日本通信は同年7月に音声通話定額プランを提供開始。

音声卸料金の推移



裁定の影響：日本通信の利用者料金

【裁定前】

基本料:1,390円(3GB)
通話料:20円/30秒



【裁定後(2020/7/15~)】

2,480円(通話定額)
〔基本料:2,480円(3GB)
通話料:無料(かけ放題)〕

※参考:NTTドコモの料金(ギガライト)

5,850円(通話定額)

〔基本料:4,150円(3GBの場合)
通話料:かけ放題オプションは1,700円〕

- 「接続料の算定等に関する研究会」(座長:辻 正次神戸国際大学学長・教授)での議論を踏まえ、2020年9月25日に総務省が公表した「指定設備卸役務の卸料金の検証の運用に関するガイドライン」に基づく検証について、モバイル音声卸が検証の対象である旨の通知を同年10月27日にNTTドコモ、KDDI及びソフトバンク宛に発出した。
- モバイル音声卸については、「接続との代替性なし」として重点的な検証の対象となっているところ、2021年1月18日にMVNO委員会から提出された「要望書」において音声卸料金の一層の低減の求めがあったことや同年2月16日にKDDI及びソフトバンクから、同月17日にNTTドコモから、それぞれプレフィックス自動付与に係る接続機能の実装の報告があったことから、再度代替性の検証(ステップ1)を実施した。

「指定設備卸役務の卸料金の検証の運用に関するガイドライン」に基づく検証スキームの概要

検証対象の選定

卸先事業者から、具体的な課題が相当程度寄せられており、公正競争上の弊害が生じるおそれが高いと総務省において判断した指定設備卸役務を検証の対象とする。

検証の
必要あり

検証の必要なし

検証ステップ① 代替性の有無の検証

指定設備卸役務と同様の設備利用形態・利用条件等により、接続が利用可能(代替可能)かの検証

代替性あり

ステップ②検証の必要なし

検証ステップ②-1 重点的な検証

目的: 料金水準の適正性確保
手法: 適正原価+適正利潤 $\geq$ 卸料金 となっているかを検証

☞ 「第四次報告書」では、「モバイル音声卸」を「なし」と評価。

総務省による
妥当性評価 あり
「不当」評価の場合、
是正を図るための措置へ

代替性
なし

検証ステップ②-2 その他の検証

目的: 適正な交渉を促進するための透明性確保
手法: 卸料金と接続料相当額の差分の妥当性を事業者自身が検証

☞ 「第四次報告書」では、「光サービス卸」を「不十分」と評価。

総務省による
妥当性評価 なし

代替性
不十分

再検証

接続機能の実装
の報告

※ 「接続料」「卸料金」等に関する時系列検証は、ステップ②に進んだ指定設備卸役務全てを対象に実施

音声卸

MNO

MVNO

2月

3月

4月以降

従来の卸料金

見直し後卸料金

基本料: 666円 (NTTドコモ)
通話料: 14円/30秒 (NTTドコモ)

新たな接続の存在により
適正化された水準

従来のサービス

新たなサービス

- 基本料: 音声分で700円～程度
- 通話料 (従量制): 20円/30秒
- 通話料 (定額制): 提供無し ※一部を除く

<基本料の音声分※>

IIJ (IIJmio) : 700円 ⇒ 100円
オプテージ (mineo) : 700円 ⇒ 230円

※ 音声付きSIMとデータ専用SIMの基本料
の差額 (3GB又は5GB、ドコモプラン)

音声接続

MNO

MVNO

従来の接続機能 (実態は卸での提供)

新たな接続機能 (プレフィックス番号の自動付与※)

接続機能の届出 約款の公表
NTTドコモ: 2/17 2/24
KDDI、SB: 2/16

※ 一部機能 (例: 緊急通報機関への接続)
は別途卸として一体的に提供

基本料: 666円 (卸料) (NTTドコモ)
通話料: 約3円/30秒 (接続料) + 中継設備卸料金*

基本料: 91円 (接続料) (NTTドコモ)
通話料: 約3円/30秒 (接続料) + 中継設備卸料金*

「専用通話アプリ」によるサービス

専用通話アプリ不要の新たなサービス

- 基本料: 音声分で700円～程度
- 通話料 (従量制): 10円/30秒
- 通話料 (定額制): 5分定額を中心に提供

- フリービットが3月よりプレフィックス自動付与機能を活用したサービスをMVNEとして開始。
- NTTコミュニケーションズが4月7日より専用通話アプリ不要で、10円/30秒 (完全かけ放題1,300円、10分かけ放題850円等) の通話ができるサービスを提供開始予定。

* 接続料も含めて中継事業者がMVNOに請求する形態もある。